

人と防災未来センター災害対策専門研修（秋期） 実施結果

平成 15 年 10 月 14 日（火）から 11 月 20 日（木）の間に実施した「災害対策専門研修（秋期）」について、下記のとおり実施結果等を取りまとめた。

当研修は、センターが開設した平成 14 年度以降、計 4 回実施し、延べ受講者数は 390 人に上る。また、中央防災会議や総務省消防庁懇談会による人材育成に関する報告において、防災担当職員の資質の向上を図る研修として位置付けられた。

1 コース別受講者数

マネジメント コースA	第1ユニット	平成 15 年 10 月 14 日(火)~10月17日(金)	24 人
	第2ユニット	平成 15 年 10 月 20 日(月)~10月23日(木)	21 人
マネジメント コースB	第1ユニット	平成 15 年 11 月 4 日(火)~11月7日(金)	26 人
	第2ユニット	平成 15 年 11 月 10 日(月)~11月14日(金)	24 人
	第3ユニット	平成 15 年 11 月 17 日(月)~11月20日(木)	23 人
合計（のべ）			118 人

うち、各コース全ユニット受講者 Aコース：8人 Bコース：9人
定員は各ユニット 20人

2 受講者の所属

近畿地方を中心に、北は宮城県・山形市から南は宮崎県まで全国各地から参加があった。また、府県職員、市町職員を中心として、国職員、ライフライン関係機関職員など幅広い団体から参加があった。

	府県	市町	政府 機関	ライフ ライン	その他	総計
兵庫県	4	7	1			12
近畿（兵庫県除）	15	12		5		32
東北地方	1	2				3
関東地方	5	4	5			14
中部地方	9	4	3			16
中国・四国地方	14	4	2			20
九州地方	3	4			1	8
総計（実人数）	51	37	11	5	1	105
団体数	14	27	5	1	1	48

3 評価と課題

春期研修（5～6月に実施）に引き続き、高い評価を得た。

- ・研修に対する満足度の点数評価（100点満点）の平均は88.1点であり、春期研修（同88.0点）に引き続き非常に高い評価を得た。
- ・春期研修と同様に、阪神・淡路大震災時の経験者や、河田センター長をはじめとする幅広い知識と情報を有する講師の講義が高い評価を得た。
- ・東南海・南海地震に係る防災対策推進地域の指定等もあり、当センター専任研究員による津波防災に関する講義が高い評価を得た。
- ・阪神・淡路大震災の被災地における研修ならではの取り組みとして、今年度から研修に取り入れた現地視察や現場討論会が好評であった。
- ・春期研修に引き続き、各ユニット冒頭のオリエンテーションにおいて、各ユニットを企画した専任研究員（週担当）から、ユニット全体の考え方や個々の講義の位置付け等について説明したところ、「体系的に学ぶことができ理解が進んだ」との意見が多数あった。
- ・一方で、他と比較して著しく評価の低い講義が一部に見られ、講師との十分な事前調整の必要性等を改めて痛感した。また、これまでの研修でも指摘のあった「質疑応答・意見交換時間の不足」について意見があった。

4 今後の対応

(1) 平成16年度研修計画の検討

平成16年度の研修計画の検討にあたっては、基本的に現行の方式を継続しつつ、その他の反省点や当研修の特徴（注1）も踏まえ、検討を進めることとする。

また、米国等の先進的な危機管理システム（注2）や人材育成に関する新しい手法（例：実災害の映像記録を活用し災害の全体像を掴むトレーニング）等も意識し、「防災に関する人材育成のあり方」を念頭に置いて検討を進めることとする。

（注1）当研修は、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえた実践的な研修、巨大災害対策に必要な事項を体系的に網羅、専門家による企画・運営、充実した講師陣、人的ネットワークの構築等を特徴としている。

（注2）当センターでは、危機管理に関する最新の考え方等の知見を深めるとともに、その成果を今後の人材育成事業等に活用するため、米国の危機管理システムに関する講演会を開催した。

(2) 今後の予定

当センターでは、今年度中に、地方公共団体の首長を対象とする「災害対策トップフォーラム」、テーマ・対象者を限定し特定のテーマを深く掘り下げる「特設コース」を実施する予定である。

(参考)コース別の概要

項 目	内 容	
	マネジメントコースA	マネジメントコースB
目 的	阪神・淡路大震災の経験と教訓をベースに、大規模災害発生時に各種の対応が同時進行的に展開する状況を横断的・総合的にとらえ、これに対処する能力を向上させるとともに、新たな危機を予防・軽減化するための視点や考え方、手法などについて学ぶ。	災害発生メカニズムや阪神・淡路大震災の経験を踏まえた各部門の災害対応ならびに災害対策のあり方など、Aコースの前提となる基礎的な知識について体系的に学ぶ。
対 象	地方公共団体における防災・危機管理担当責任者など	Aコースの対象者を補佐する者及びAコースの対象者のうち経験年数が浅い者など
定 員	各ユニット 20 人	各ユニット 20 人

(別添)

- ・研修風景(写真)
- ・秋期研修カリキュラム

研修風景



講義（河田センター長）
（Aコース第1ユニット
「危機管理特論」）



演習
（Bコース第2ユニット
「災害対応演習」）



現地視察
（Bコース第3ユニット
「市民と防災：被災地に学ぶ防
災地域づくり」）

各ユニットの基本コンセプト

A コース	第1ユニット	<p>【災害時のマネージメント能力の向上】阪神・淡路大震災の経験に基づき、危機への初動対応や中長期的復旧・復興課題について実務面・理論面・制度から学ぶ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 初動対応 <ul style="list-style-type: none"> ● 国の対応（内閣官房・自衛隊） ● 初動対応論 ~ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 危機管理特論 <ul style="list-style-type: none"> ● 河田センター長 ● 遠藤氏（元日銀神戸支店長） </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 復旧・復興対応 <ul style="list-style-type: none"> ● 応急対応論 ● 復旧・復興論 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 行政危機対応のトピック <ul style="list-style-type: none"> ● マスコミ ● 市民 </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">自治体防災政策論（貝原前兵庫県知事）</p> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">討論会</p>
	第2ユニット	<p>【リスク軽減手法と防災政策】主に阪神・淡路大震災の経験に基づき、今後の危機を未然に防止ないし軽減化するための訓練手法や政策手法について学ぶ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> リスク軽減手法 <ul style="list-style-type: none"> ● シナリオ型被害想定 の概念 ● シナリオ型被害想定 の実戦 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 防災政策 <ul style="list-style-type: none"> ● 防災政策総論 ● リスク政策論 ● 地震保険 ● リスク対策の提案と評価 ● 民間と市場の力を活用した防災 ● 防災組織のあり方 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 意思決定 <ul style="list-style-type: none"> ● トップの対応（北村前 芦屋市長） ● 現場討論会 ● 意思決定能力向上のため の手法展開 </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">討論会</p>
	第1ユニット	<p>【自然災害の現象理解と防災基礎】自然災害発生メカニズムを正しく学習するとともに、その他自治体の防災担当者として知っておくべき基本的な法制度や理論、知識等について学ぶ。（主に初任者向け）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 日本の災害史 防災基礎 <ul style="list-style-type: none"> ● 防災論基礎 ● 国際緊急支援 ● 災害対策関連法・制度基礎 ● 災害の予測と情報公開 ● 災害対応演習 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 災害の現象理解 <ul style="list-style-type: none"> ● 地震発生メカニズムと被害想定 ● 津波防災の最前線 ● 風水害 ● 土砂災害 </div> </div>
B コース	第2ユニット	<p>【災害対応と復旧・復興の課題】阪神・淡路大震災の経験に基づき、災害発生から復旧・復興過程までの一連の流れの中で、留意すべき課題や問題点を学ぶ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 被災者支援 <ul style="list-style-type: none"> ● 救命・救急 ● ボランティア </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 都市復旧・復興 <ul style="list-style-type: none"> ● インフラ復旧 ● 都市計画 ● まちづくり </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 初動期特定課題 <ul style="list-style-type: none"> ● 市街地火災 </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">演習：災害対応実践</p> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">討論会</p>
	第3ユニット	<p>【防災・減災の視点と手法】阪神・淡路大震災の経験を踏まえつつ、新たな災害の発生を抑制し、軽減化するための考え方や手法について学ぶ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 導入 <ul style="list-style-type: none"> ● 防災概論 ● 危機管理の実戦的取組 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 防災・減災の手法 <ul style="list-style-type: none"> ● 防災情報論 ● 資源動員体制 ● 企業防災論 </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">討論会</p>
	第1ユニット	<p>【災害対応と復旧・復興の課題】阪神・淡路大震災の経験に基づき、災害発生から復旧・復興過程までの一連の流れの中で、留意すべき課題や問題点を学ぶ。</p> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">国の対応：内閣府・厚生労働省・総務省消防庁</p> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">災害対応と復旧・復興：現場からの教訓</p>

Aコース第1ユニット

災害時のマネージメント能力の向上

担当：専任研究員 越山健治

	10月13日(月)	10月14日(火)	10月15日(水)	10月16日(木)	10月17日(金)
10:00 11:30 1限			初動期：国の対応 増田潤一 陸上自衛隊中部方面総監 部防衛部防衛課長 ・災害発生からの行動原理と自治体との関係について	行政危機対応のトピック 市民 中村順子 コミュニティ・サポートセンター神戸 理事長 ・震災時、市民の立場から見た行政対応やその後の市民活動について	復旧復興論 (1週間～3ヶ月) 中林一樹 上級研究員 ・都市復興、都市復旧に関する計画について
12:45 14:15 2限		開講式・オリエンテーション 越山健治 専任研究員	初動対応論 (直後から3日まで) 甲斐達朗 上級研究員 ・災害現場の救急医療の状況と行政との関係について	応急対応論 (3日～1週間) 徳山明 富士常葉大学長 ・避難所対策から応急仮設住宅まで	討論会 越山健治 専任研究員 ・災害初動期に必要なとされる知識とは
14:30 16:00 3限		行政危機対応のトピック マスコミ 桃田武司 神戸新聞社経済部長 ・災害時のマスコミの行動原理と行政体制への見方について	初動対応論 (直後から3日まで) 室崎益輝 上級研究員 ・自治体における初動対応のあり方について	初動期：国の対応 牛島弘樹 内閣官房(安全保障・危機管理)参事官補佐 ・大規模災害時の国の対応方法と行動原理について	危機管理特論 河田恵昭 人と防災未来センター長 ・自然災害、人為災害を問わず現在懸念される各種リスクについての問題提起
16:30 18:00 4限		危機管理特論 遠藤勝裕 元日銀神戸支店長 ・自治体以外のトップの立場から見た災害対応の現場とその教訓について	討論会 行政の初動 対応の課題と論点 室崎益輝 甲斐達朗 上級研究員 ・初動対応期に必要な知識や行動原理を討議	自治体防災政策論 貝原俊民 前兵庫県知事 ・自治体の施策と防災の考え方や自治体における今後の防災のあり方について	(16:10～16:40) 閉講式

Aコース第2ユニット リスク軽減手法と防災政策

担当：非常勤研究員 柄谷 友香

	10月20日(月)	10月21日(火)	10月22日(水)	10月23日(木)	10月24日(金)
10:00 11:30 1限	開講式・オリエンテーション 柄谷友香 人と防災未来センター非常勤研究員	危機管理総論 林春男 上級研究員 ・わが国の危機管理の問題点 ・組織における危機管理能力向上のための方策	阪神・淡路大震災でのトップの対応 北村春江 前芦屋市長 ・阪神・淡路大震災から得られたトップとしての課題と教訓	(9:30~15:00) 意思決定能力向上のための手法展開 齋藤富雄 兵庫県副知事 山中茂樹 朝日新聞編集委員 柄谷友香 人と防災未来センター非常勤研究員 ・災害に対する問題解決能力の向上にむけての手法 ・大規模災害発生時の限られた時間と情報の下で、災害対応責任者としての役割 ・危機状況に備えて、記者会見シミュレーションの実施	
12:45 14:15 2限	シナリオ型被害想定の実戦(防災訓練) 岩田孝仁 静岡県防災局防災管理室主幹 ・シナリオ型被害想定の実戦(防災訓練)への活用と事前復興計画の紹介など	リスク政策論 林敏彦 上級研究員 永松伸吾 専任研究員 ・経済的枠組みからみた防災政策の評価と課題 ・最近の災害事例から見たリスクと政策のあり方	民間と市場の力を活用した防災 澁谷和久 内閣府企画官(災害予防担当) ・防災における産官学民連携強化手段とその必要性		
14:30 16:00 3限	地震保険 鈴木文明 日本損害保険協会業務企画部第1グループリーダー ・地震保険の役割と公共性 ・自助努力として必要な地震保険	リスク対策の提案と評価 目黒公郎 東京大学生産技術研究所助教 ・最新の政策事例：次世代型マニュアル、耐震補強政策などの提案とその評価	現場討論会 (14:45~15:45) 野口一行 兵庫県農林水産部農林水産局水産課主幹 (15:50~17:20) 中地弘幸 神戸市消防局警防部警防課係長 ・震災当時の指揮者等と交え、災害対応の実際と得られた教訓について討論 (17:20~18:00) ・被災地に整備された防災施設の見学	(15:30~17:00) 防災組織のあり方 青砥謙一 兵庫県防災監 ・広域災害に備えた防災組織の現状と今後の課題	
16:30 18:00 4限	防災政策総論 河田恵昭 人と防災未来センター長 ・東南海・南海地震を見据えた長期的な視点に立った防災政策のあり方	シナリオ型被害想定概念(防災計画) 吉井博明 東京経済大学教授 ・シナリオ型被害想定のか考え方や地域防災計画と被害想定		(17:10~17:40) 閉講式	

Bコース第1ユニット

自然災害の現象理解と防災基礎

担当：専任研究員 越村 俊一

	11月3日(月)	11月4日(火)	11月5日(水)	11月6日(木)	11月7日(金)
10:00 - 11:30 1限		開講式・オリエンテーション 越村俊一 専任研究員	国際緊急支援 大田孝治 国際協力機構国際緊急援助隊事務局災害援助課課長代理 ・国際緊急支援の枠組み、活動状況	防災論基礎 林春男 上級研究員 ・社会の防災力向上のために必要な考え方と実務上の捉え方	災害情報システム特論 松岡昌志 地震防災フロンティア研究センター 副チームリーダー ・地震被害の軽減、発災後の対応のための防災情報技術
12:45 - 14:15 2限		津波防災基礎論 越村俊一 専任研究員 ・我が国における津波防災の現状と今後の方向性	風水害の発生メカニズムとその対応 中川一 京都大学防災研究所教授 ・風水害の発生メカニズムとその対応	災害対策関連法 制度基礎 榎晃秀 内閣府参事官(災害予防担当)付参事官補佐 ・災害対策の法的な枠組みと実務	災害の予測と情報公開 塩路勝久 国土交通省河川局治水課都市河川室長 加藤孝志 気象庁地震火山部管理課調査官 ・災害情報の開示とその活用
14:30 - 16:00 3限		地球温暖化と災害 横木裕宗 茨城大学助教授 ・地球温暖化が災害に与える影響と、想定される新しい災害形態	土砂災害の事例と対策 沖村孝 上級研究員 ・土砂災害の事例と砂防対策事業	災害対応演習 複合災害 沖村孝 上級研究員 甲斐達朗 上級研究員 森津秀夫 上級研究員 越村俊一 専任研究員 ・想定したシナリオ下における災害対応業務の演習	災害情報論 河田恵昭 人と防災未来センター長 ・災害情報の理解とそのハンドリングノウハウ
16:30 - 18:00 4限	地震発生のメカニズムと被害想定 加藤照之 東京大学地震研究所教授・センター長 ・プレート境界型巨大地震を主とした地震発生のメカニズムと中央防災会議の被害想定	日本の災害史 伊藤和明 防災情報機構会長 ・日本の災害、被害の事例の歴史的変遷	都市巨大災害論 河田恵昭 人と防災未来センター長 ・都市巨大災害の変遷とこれからの都市防災、危機管理		
					(18:10 ~ 18:40) 開講式

Bコース第2ユニット

災害対応と復旧・復興の課題

担当：専任研究員 永松 伸吾

	11月10日(月)	11月11日(火)	11月12日(水)	11月13日(木)	11月14日(金)
10:00~11:30 1限	開講式・オリエンテーション 永松伸吾 専任研究員	災害対応と復旧・復興 (現場からの教訓) 内山祐周 神戸市理事・危機管理監 ・阪神・淡路大震災における復旧・復興に関する経験、教訓と現在の取り組み	都市復旧・復興 中林一樹 上級研究員 ・発災から復旧・復興過程の都市計画	都市復旧・復興 森津秀夫 上級研究員 秦康範 専任研究員 ・インフラ復旧(交通・ライフライン)	(9:30~12:45) 被災者支援 (ボランティア) 立木茂雄 上級研究員 山本康史 HRO-ボランティア・ネットワークみえ代表 平野昌 HRO-ボランティア・ネットワークみえ事務局(三重県地域振興部東紀州活性化・地域振興プロジェクトグループ主幹) ・災害時におけるボランティア活動支援(ボランティアコーディネート等)
12:45~14:15 2限	災害に関する政府対応の仕組みと考え方 川中邦男 内閣府企画官(災害応急対策担当) ・わが国における最近の災害対応に関する議論と内閣府の取り組み	被災者支援 (救急・救命) 甲斐達朗 上級研究員 ・災害医療の仕組みと行政担当者の留意点	都市復旧・復興 中林一樹 上級研究員 松谷春敏 岐阜市助役 ・阪神・淡路大震災における復旧・復興過程の都市計画(実務者との対談形式)	災害対応演習 高梨成子 (株)防災&情報研究所代表 秦康範 専任研究員 ・災害対応シミュレーターを活用したロールプレイ型の図上訓練により、初動対応を中心とした災害対応を実践的に学ぶ	(14:00~15:30) 討論会 永松伸吾 専任研究員
14:30~16:00 3限	災害に関する政府対応の仕組みと考え方 喜田川典秀 厚生労働省社会援護局保護課災害救助対策室災害救助専門官 ・災害救助法の概要と応急救助への考え方、取り組み	初動期特定課題 (市街地火災) 関沢愛 東京大学大学院教授(消防研究所上席研究官) ・市街地火災の実態と地域防災計画との関係、対応課題等	都市復旧・復興 小林郁雄 上級研究員 ・発災からのまちづくりについて現地で学習・意見交換		(15:40~16:10) 閉講式
16:30~18:00 4限	災害に関する政府対応の仕組みと考え方 務台俊介 総務省消防庁防災課長 ・初動対応としての役割と危機管理体制への取り組み	災害対応演習 秦康範 専任研究員 ・「災害対応演習」のためのオリエンテーション			

Bコース第3ユニット 防災・減災の視点と手法

担当：専任研究員 菅 磨志保

	11月17日(月)	11月18日(火)	11月19日(水)	11月20日(木)	11月21日(金)
10:00 - 11:30 1限		国際防災論 岡崎健二 国連地域開発センター防災計画兵庫事務所長 ・海外における都市の防災力向上に向けた取り組みについて	企業防災論 守茂昭 都市防災研究所事務局長 中村俊夫 旧居留地連絡協議会防災委員長 ・被災地の企業による防災対策・防災まちづくりへの取り組みと課題	広域災害論 河田恵昭 人と防災未来センター長 ・広域災害時に想定される課題(広域連携など)と対策	
12:45 - 14:15 2限	開講式・オリエンテーション 菅 磨志保 専任研究員	資源動員体制 五辻 活 日本生協連・大規模災害対策協議会 永春隆司 (株)仆-ヨ-カ堂 渉外部マネージャー ・民間業者の地震対策事例を題材に、行政と民間の連携と課題	(11:40 ~ 16:20) 市民と防災：被災地に学ぶ防災地域づくり 神戸まちづくり研究所 ・震災後の地域防災施策と現在の状況 ・生活者の視点から見た防災施策の問題点の把握と今後の施策立案について、現地視察を通して学習	(12:45 ~ 15:15) 討論会 日野宗門 消防科学総合センター部長 永松伸吾 専任研究員 ・過去の事例および実際に生起しうる状況での意思決定に関するディベート	
14:30 - 16:00 3限	防災概論 室崎益輝 上級研究員 ・現在の防災における諸課題に対して、何をなすべきか	防災情報論 市川啓一 (株)レスキューナウ・ドット・ネット代表取締役 ・産官学民の円滑な連携と災害救援活動に必要な情報の収集と発信		(15:25 ~ 15:55) 閉講式	
16:30 - 18:00 4限	危機管理の実践的取り組み 横浜の事例 有木文隆 横浜市総務局危機管理対策室長 ・防災先進自治体の取り組みの中で阪神・淡路大震災の教訓がどう活かされているか	(16:10 ~ 17:30) 展示見学、並びに、語り部ボランティアからの震災体験の聴取	専門職能と被災者支援 阪神・淡路まちづくり支援機構(津久井進、植田豊、野崎隆一) ・被災地において各種専門家(建築・法律・税務など)の果たした役割について		